

## 東通村診療所に新しい研修医が来ました！



12月5日から2月4日まで、森 貴幸（もり たかゆき）医師が、研修医としていらっしゃいました。

森先生は生まれも育ちも千葉県市川市。よく作り話をして大人を困らせていた子どもだった、とお話しされています。

山梨大学医学部出身、現在は横須賀市立市民病院に所属。

大学生時代は、友人と旅行へ行ったり、飲み明かしたり…。色々ありますが、水泳部とオーケストラ部をやりとおしたのが思い出とのこと。

趣味は読書、野球、チェロ演奏、写真。特技はおいしいものを探すこと。休日は本を読んだり、出かけて写真を撮ったりし

て過ごしているそうです。

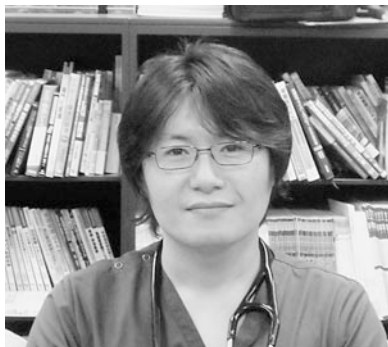
医師を目指すきっかけになったのは、「昔から生物学や理系科目が好きでしたが、世間へ貢献していない自分に気がついたから。何か理系で人のためになる職を、求めたのがきっかけ」だったそうです。

医師になって良かったと思う時は、退院する患者さんを見送る時。自分の知識や行動が患者さんのためになった時、やりがいを感じるとのこと。将来は、なるべくいろいろな人になれる医者になることが目標。

東通村を研修先とした理由は、以前、青森の他の診療所を訪れて、今いる病院とは違う経験をつめそうな印象があったから。



「まだまだ勉強中ですが、今の自分なりに出来ることを見つけたい」と抱負をお話してくださいました。研修にあたっては、「行ったことのない土地で生活することへの不安があります」とのこと。で、「いたらない点は多々あると思いますが、一生懸命やりますので、よろしくお願いいたします」とみなさんへのメッセージでした。



11月28日から12月24日まで、福士 謙（ふくし けん）医師が、研修医としていらっしゃいました。

福士先生は青森県平川市（旧尾上町）出身、五戸町⇒尾上町で育ったそうです。ラジオをつくったり、物を壊して親に怒られていた子どもだったようです。

東京理科大学工学部卒業後弘前大学医学部を経て、現在はむつ総合病院に所属しています。

学生時代は、部活（無線研究部）のみinnで毎年夏に伊豆でキャンプしたり、大学の廊下に寝袋で寝て怒られたりしていた思い出があるとお話されています。

休みの日は、地元の仲間とバーベキューをしたり、車いじりをして過ごしているとのこと。2週間に1回は東通にそばを食べに来ているようです。

理科大時代、帰省中にたまたま医師不足の記事を新聞で読み医師を目指すと思ったのがきっかけ。

医師になって良かったと思う時は、退院した患者さんが、病院ですれ違った時、声をかけてくれた時。治療に参加した患者さんの容態が良かった時やり

がいを感じているとのこと。

将来は患者さんに信頼される医師になることが目標。

東通村を研修先とした理由は、これまでほぼ病院の中でしか患者さんに接したことがなく、訪問診療などの地域医療を精力的に行っている東通村で勉強したいと思ったから。

研修にあたっては、患者さんを総合的に診ることのできる医師に少しでも近づけるよう勉強したいと抱負をお話しています。

福士先生のおじい様は東通村出身。「ゆかりのある東通村で研修できることを楽しみにしています。診療所で僕をみかけたらお気軽に声をかけてください」